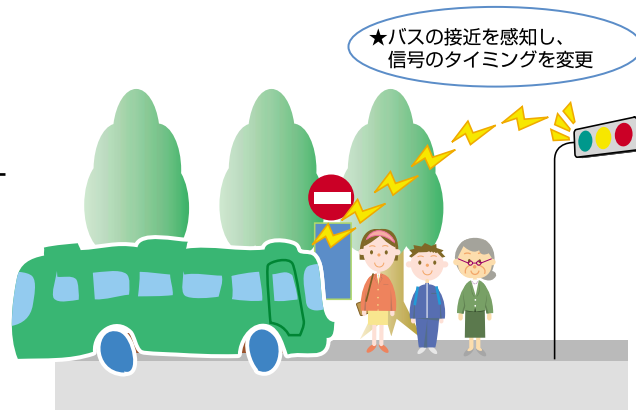


※「公共交通を便利にする施策」と「クルマの利用を抑える施策」の例

《公共交通を便利にする施策》

○公共車両優先システム(PTPS)

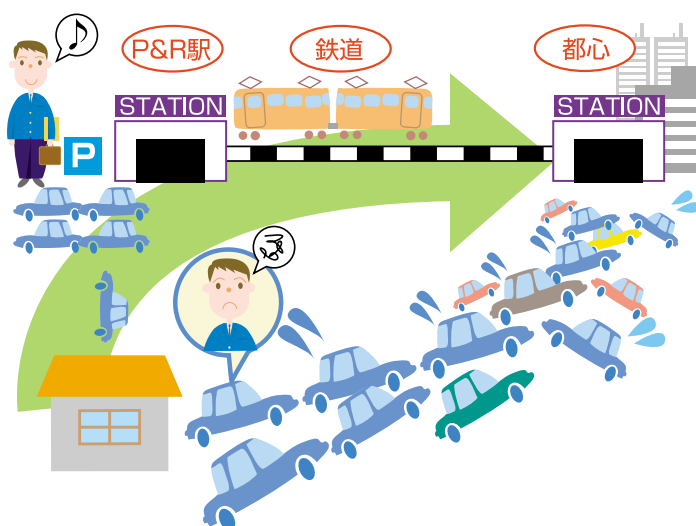
- ・バスが走行しやすいよう、車両の接近に合わせて信号を制御し、待ち時間やダイヤの遅れを減らして、所要時間の短縮も図ります。通常、あわせてバス専用レーンを設置します。
- ・現在、県道仙台泉線で導入されています。



○パーク・アンド・ライド(P&R)

○パーク・アンド・バスライド(P&BR)

- ・通勤などで、郊外から都心へ直接自動車で乗り入れず、最寄駅の駐車場にクルマをおいて鉄道やバスに乗り換える方式。渋滞に巻き込まれず到着時間が読みやすく、環境にもやさしいです。
- ・現在、多賀城地区、富谷地区、富沢地区、中山地区などで実施されています。



《クルマの利用を抑える施策》

○広幅員道路空間の再構成

- ・都心部の広幅員道路空間を再構成し、歩道を拡幅して、クルマから公共交通、徒歩・自転車利用への転換を促します。広場との一体化、公共交通を便利にする施策などと同時に実施します。
- ・仙台都心部では、都市再生プロジェクトの一環としての導入が検討されています。

緑陰道路整備(緑化の推進)

歩行者・自転車走行空間創出

都市のにぎわい空間創出
(例：オープンカフェ、ミニ広場)

都心バスサービスの充実

